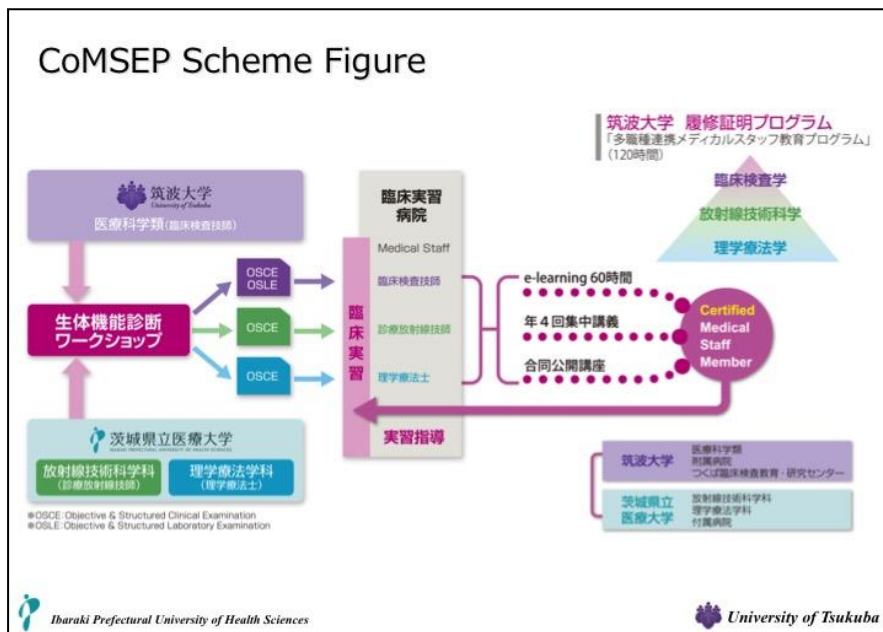


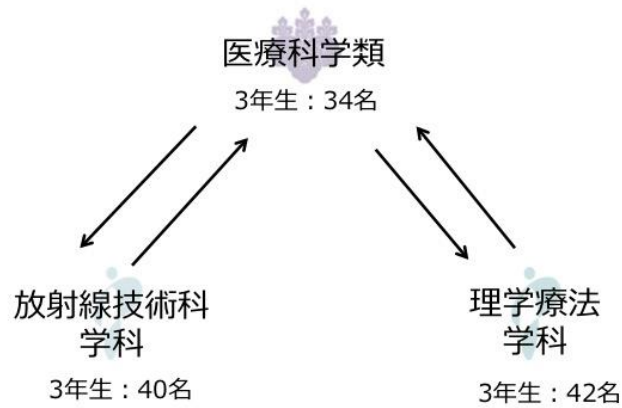
第9回日本放射線教育学会が平成27年9月2日 首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパスにて開催され、「多職種連携医療専門職養成プログラムの取り組み」と題して学術発表を行いました。今回の発表は、多職種連携医療専門職養成プログラム（以下、CoMSEP）の概要、平成26年度に実施した筑波大学の医療科学類と茨城県立医療大学の診療放射線学科、理学療法学科との学部教育「交流ワークショップ」と、現在実施中の卒後教育「履修証明プログラム」の途中経過について報告しました。



CoMSEPの取り組み

- 学部教育「交流ワークショップ」
卒前からチーム医療を意識させることを目的として、両大学の3年生を対象に実施。
- 卒後教育「履修証明プログラム」
メディカルスタッフとして専門的視野を広げることを目的に60時間のE-learningと、集中開講のスクーリングを実施。

平成26年度 学部教育「交流ワークショップ」

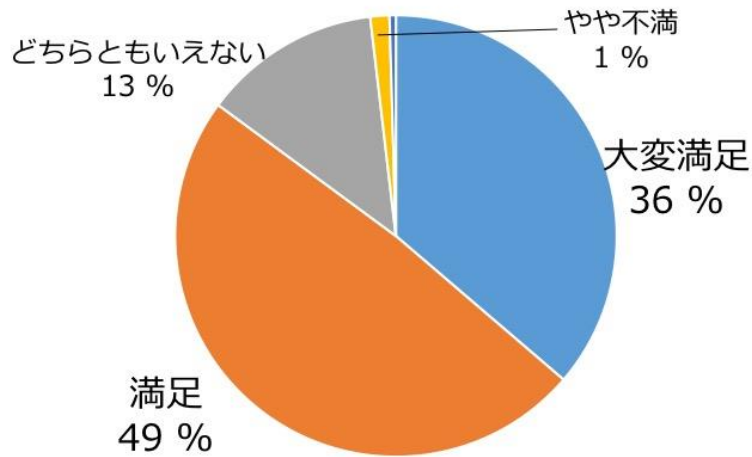


Ibaraki Prefectural University of Health Sciences



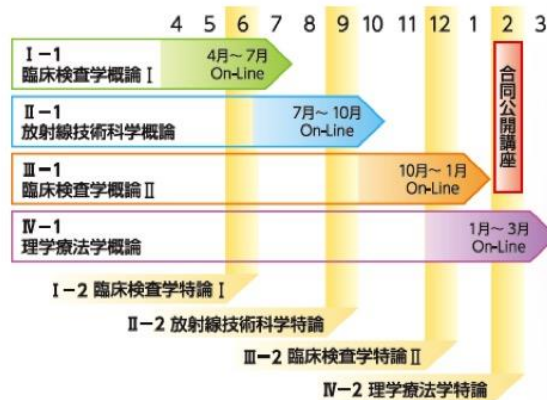
University of Tsukuba

交流ワークショップは全体として満足できるものでしたか？



ba

卒後教育「履修証明プログラム」



Ibaraki Prefectural University of Health Sciences



University of Tsukuba

平成27年度 卒後教育「履修証明プログラム」

経験年数	臨床検査技師	診療放射線技師	理学療法士	その他
5年未満	3	0	2	
5～10年未満	4	2	5	
11～15年未満	1	4	2	
16～20年未満	1	2	0	1*
20年以上	2	0	0	
計	11	8	9	1

* 作業療法士



Ibaraki Prefectural University of Health Sciences



University of Tsukuba

発表後は、学部交流についての単位について他大学の先生より質問を頂き、磯辺先生、茨城県立医療大学の佐藤先生より説明をしていただきました。学会参加者からはご興味を持たれていただき、よい回答が出来たと感じております。また、同学会では、同じ採択事業を行っている九州大学の発表もあり、双方の進捗状況も確認が出来、有意義な学会でありました。

筑波医療科学 第11巻 第4号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 二宮治彦 磯辺智範
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2015年10月7日